

個別共同研究 1

『マルチ言語版絵巻物による日本常民生活絵引』の編纂共同研究

マルチ言語版『絵巻物による日本常民生活絵引』

編纂研究班の活動と成果

1 21世紀 COE プログラムとマルチ言語版生活絵引編纂

2003年度から2007年度の5年間展開した神奈川大学の21世紀 COE プログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」の研究事業の柱の一つは図像であり、その具体的な課題は生活絵引の編纂であった。その生活絵引の編纂では、日本近世生活絵引編纂、東アジア生活絵引編纂と並んでマルチ言語版『絵巻物による日本常民生活絵引』編纂が進められた。かつて日本常民文化研究所の先輩たちが取り組み、その成果として刊行した『絵巻物による日本常民生活絵引』に示された、図像から情報を引き出す絵引という方法は、世界的には類を見ない独創的なものであり、その方式の世界的な可能性を追求することがこの班の役割であった。

マルチ言語版『絵巻物による日本常民生活絵引』編纂は、『絵巻物による日本常民生活絵引』全5巻をマルチ言語版として刊行することであった。内容的には、絵引の本文を英語にすること、そしてキャプションをマルチ言語化することであり、後者は英語、中国語、韓国語版を編纂することであった。5年間の21世紀 COE プログラムの事業期間では、全5巻のうち第1巻と第2巻について完成させ、刊行することができた。5年間で2巻のみの刊行になったことは、この事業が単なる翻訳作業でなかったことを意味する。

恐らく多くの読者は、マルチ言語版は『絵巻物による日本常民生活絵引』の翻訳と理解し、絵引の文章や単語を英語に訳し、キャプションを中国語や韓国語に訳したに過ぎないと思われることであろう。実際、21世紀 COE プログラムの研究担当者や神奈川大学の関係者のなかにもそのように理解し、評価した人がいた。マルチ言語版『絵巻物による日本常民生活絵引』の編纂は研究ではないと評した人さえいた。しかし、単語を和英辞書でひいて置き換えるような単純な作業ではなかった。日本の、しかも中世の生活文化を示す表現を英語や中国語、あるいは韓国語にすることは大変困難なことであり、簡単にできることではなかった。全5巻の刊行を計画していたが、結果的には2巻の刊行に終わったことは、この編纂が単なる翻訳作業でないことを示している。

日本中世という、ある文化のある時代の事物、事象を把握し、それを別の文化の脈絡のなかで理解できるように表現することは大変難しいことであった。誤解を生じさせずに適切に理解させるためには、世に出ている和英辞典の適用では不可能であった。また大型の和英辞典にも掲げられていない事項も多かった。まず一つ一つの描かれた事物を理解し、その事項の日本語の意味を確認し、それに対応する各言語の表現を探し出し、確定することを行った。5年間は、そのような確定作業のための研究会であった。英語や中国語、韓国語で表現するために膨大な時間が費やされた。刊行された『マルチ言語版絵巻物による日本常民生活絵引』はわずか2巻であるが、そこには大きな研究成果が蓄積さ

れているのである。

2 センター第一期研究事業としての編纂共同研究

21世紀COEプログラムが2008年3月に無事終了し、その成果を引き継いで非文字資料研究センターが設立された。その第一期の研究課題として、当然のこととしてマルチ言語版『絵巻物による日本常民生活絵引』編纂は設定され、残り3巻の編纂を行うこととなった。研究班は、COEから引き続き、ジョン・ボチャラリ、金貞我、福田アジオの3名が加わり、加えてクリスチャン・ラットクリフが新たに参加した。それに第1、第2巻の編纂に大きな役割を果たした東京大学の君康道氏を引き続き研究協力者に依頼し、5名体制で本文及びキャプションの英文を検討することとなった。さらに、キャプションの各言語版編纂には、韓国語は金貞我が担当し、中国語は日本の民俗文化にも詳しい首都大学東京の何彬氏及び日本に長期滞在中の厳明氏を依頼した。英語版は本文とキャプションの双方について行うものであり、頻繁に研究会を開催して、まず『絵巻物による日本常民生活絵引』第3巻の内容を検討し、その適切な英文表現を一字一句ないがしろにせず確定していった。

21世紀COEプログラムの一つの大きな課題が若手研究者の育成にあった。マルチ言語版『絵巻物による日本常民生活絵引』編纂も、その趣旨に則り、基礎の翻訳作業を翻訳専門家や翻訳会社に発注せず、大学院博士課程で日本文化を研究しているネイティブの留学生に依頼することとしていた。非文字資料研究センターでもその方針を引き継いだ。幸いにも、それぞれのネイティブの若手研究者や海外で高等教育を受けた人たちに依頼することができた。英語は中井真木、高山靖弘、ドブレ・ルチアナ、中国語は李利、韓国語は徐東千の皆さんであった。それぞれお忙しいなか精力的に作業を進め

て下さり、研究班の検討のための優れた原案を用意して下さいました。その過程で内容の理解について種々提言もして下さいました。その情熱が研究班にも反映し、研究会を盛り上げてくれた。

また、今回開始したものにキャプションのフランス語版を編纂することがあった。これも若手研究者のアレクサンドル・マンジャンとフレデリック・ルシーニュのお二人が献身的な努力をして第3巻のキャプションのフランス語訳を進めて下さった。ただ、フランス語版は第1巻と第2巻には収録されておらず、しかも諸般の事情で第4巻、第5巻での収録の展望をえられなかったため、第3巻のみフランス語版を入れることはバランスを欠くこととなるので、今回は収録を断念した。改めて残りの巻のフランス語版編纂の体制を作り、全5巻を揃えて刊行するときには英語、中国語、韓国語、そしてフランス語も含んだマルチ言語版にして完成させたいと考えている。

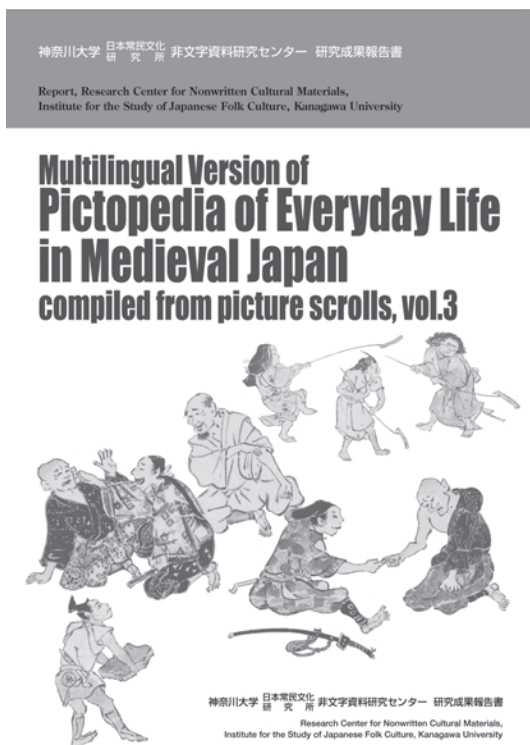


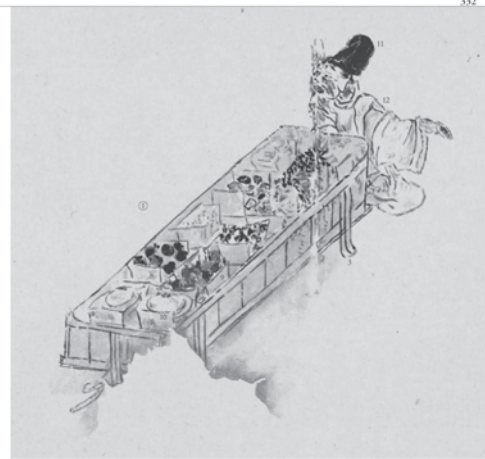
写真1 マルチ言語版『絵巻物による日本常民生活絵引』第3巻表紙



331 Meals

Eating meals in the kitchen is depicted here. Parents and a child are eating the venison that the master hunted. They are eating only meat and nothing else. The style is very simple, with only bowls used as dishes and a cutting board and a knife for cooking. The remaining meat is either skewered or dried on straw matting. This scene tells how people dined in those days.

- 1 wearing one's hair down
- 2 *tsuzumi*
- 3 baby
- 4 bowl
- 5 step
- 6 rough straw matting
- 7 earthen wall
- 8 lark
- 9 *shushi*
- 10 *tsuzumi* (animal skin?)
- 11 having one shoulder
- 12 chopping board
- 13 venison
- 14 knife
- 15 bowl
- 16 string cross bagged
- 17 child eating venison
- 18 string with legs stretched out
- 19 skewered meat
- 20 plank with vertical planks
- 21 wooden floor
- 22 thatched roof
- 23 rafter
- 24 dried meat (skewered and dried?)
- 25 pillar
- 26 earthen wall (under the porch)
- 27 dried meat (dried on straw matting)
- 28 arrow for scaring animals
- 29 being used for keeping the straw matting in place
- 30 firewood
- 31 skewered meat
- 32 pos



332 Foodstuffs in a Chest with Legs

Various foodstuffs are placed in a chest with legs. It would be a precious source of information, if one could identify what they are, but that is impossible from this image. Yet they seem to be not daily staple food but side-dishes to go with it or luxury foods. They seem to be fruits or vegetables. Presumably they are the local specialties presented as a sort of tribute. Quite a few examples exist that depict the usage of long chests for transporting supplementary foodstuffs. However, it was uncommon to use such chests among ordinary people. Instead, ordinary people used *shokai* for exchanging food as a gift. *Shokai* is a container with a magnum cylindrical body and three legs. What is depicted here can be regarded as a miniaturized chest with legs, or *karahito*. There was also chests half the size of a long chest with legs (*naga-karahito*). They were called *hata-karahito* or *karahito*. Long chests without legs are *nagamonki*.

- 1 long chest with legs
- 2 side board
- 3 leg
- 4 foodstuffs (unidentifiable)
- 5 foodstuffs (unidentifiable)
- 6 foodstuffs (unidentifiable)
- 7 foodstuffs (unidentifiable)
- 8 seat
- 9 foodstuffs (unidentifiable)
- 10 *tsuzumi*
- 11 *tsuzumi*
- 12 *tsuzumi*

写真2 本文編

English	Japanese	Chinese	Korean
22 hedge	22 生垣	22 灌木篱笆	22 생나루 울타리
23 open hearth	23 いりり	23 地炉	23 화덕
24 tusklike	24 笊	24 笊状的柄	24 笊
25 lid	25 蓋	25 盖子	25 받침
26 tripod	26 五脚	26 火排子	26 삼발이
27 pot	27 鍋	27 锅	27 냄비
28 firewood	28 薪	28 木柴	28 장작
29 wainscoting (vertical)	29 欄板 (縦板)	29 栅板 (竖板)	29 장판 (세로널)
30 sliding screen door	30 襦子戸 (ふすましょうじ)	30 糊纸拉门	30 병창지
356 Drainboard	356 流しもと	356 (厨傍等处的) 水沟	356 계수대
1 roof	1 屋根	1 屋顶	1 지붕
2 rafter	2 梁木 (やぐら)	2 椽子	2 서까래
3 lattice shutter	3 簾 (しだ)	3 格子帘 (簾)	3 격자 등문
4 metal shutter hook	4 釣金具	4 金属吊钩	4 걸쇠
5 mainrdo	5 まいらひ	5 横栅拉门	5 가로살문
6 pillar (chamfered)	6 柱 (圓取り)	6 柱子 (去角)	6 기둥 (모자기)
7 futon	7 蓆	7 榻榻米	7 다닥이
8 <i>anago</i> pattern cloth edging	8 裾縁縁 (うしげんべり)	8 用红紫色色织的草席边	8 띠자리의 가선
9 threshold	9 敷板 (ふし)	9 门槛	9 문지방
10 sliding screen door (diagonal check with louzenge)	10 襦子戸 (斜格子に簾) (ふすましょうじ)	10 糊纸拉门 (斜格子帘形)	10 병창지 (격자및살에 아담모양)
11 lower crossbeam	11 縁長押 (えんながし)	11 廊下长系木	11 마루안장
12 porch	12 縁	12 廊	12 쪽마루
13 joist	13 縁葺 (えんかづら)	13 合扇横木	13 받침
14 short post supporting the porch	14 縁支	14 廊底支柱	14 마루 등자
15 curtains (sone)	15 垂帘 (のれん)	15 垂帘	15 가래 일구의 포림
16 cord for tying up sone	16 的れんの結び紐	16 门帘的连接带子	16 가래 일구의 포림을 엮는 끈
17 diagonal lattices	17 斜格子	17 斜格子	17 격자 및살
18 sink	18 流しもと	18 有洗物槽的地方	18 계수대
19 bamboo basket	19 笊 (かまこ)	19 竹篮	19 장끼 한 데마구니
20 threshold	20 敷板	20 门槛	20 문지방
21 bamboo basket?	21 竹籠?	21 竹篮	21 데나무 바구니
22 bamboo basket	22 竹籠子 (たけすのこ)	22 竹篮子	22 데나무 바구니
23 mainrdo	23 まいらひ	23 横栅拉门	23 가로살문
24 <i>mugomono</i> bucket (with a handle)	24 曲物の桶 (びげ子付き) (まぐもものび)	24 弯柄桶 (带提手)	24 나무통 (손잡이가 달림)
25 laffle	25 網杓 (ひしやく)	25 长筒杓	25 국자
26 ventilation	26 空気抜き	26 通气孔	26 환풍구
27 earthen wall	27 土壁	27 土墙	27 벽
28 bamboo wall	28 竹の壁	28 竹墙	28 데나무 벽
29 wooden floor	29 板敷	29 木地板	29 마루
357 <i>Arghe Shelf and Boushi</i>	357 圓御簾・盆石	357 水台・盆景	357 물대, 분경
1 cypress bark roof	1 屋根 (檜皮葺) (やね・ひわだぶき)	1 榎柏树皮屋瓦	1 지붕 (노송나무 껍질)

写真3 語彙編

English	Japanese	Chinese	Korean
2 wooden floor	2 板敷	2 木地板	2 마루
3 pillar (chamfered)	3 柱 (圓取り)	3 柱子 (去角)	3 기둥 (모자기)
4 lower crossbeam	4 縁長押 (えんながし)	4 廊下长系木	4 마루안장
5 porch	5 縁葺 (えんかづら)	5 合扇横木	5 받침
6 joist	6 縁葺 (えんかづら)	6 合扇横木	6 받침
7 short post supporting the porch	7 縁支	7 廊底支柱	7 마루 등자
8 foundation stone	8 礎石	8 基石	8 초석
9 curbstone	9 碣石 (かずいし)	9 路石	9 장대석
10 ditch to catch raindrops from the eaves	10 雨落溝	10 排水沟	10 낙수받이 홈통
11 <i>arghe</i> shelf	11 圓御簾 (あかだ)	11 供台	11 물대
12 diagonal lattice	12 斜格子	12 斜格子	12 격자 및살
13 bamboo basket	13 竹籠子	13 竹篮子	13 데나무 바구니
14 furniture leg	14 脚	14 支腿	14 받침대
15 base constructed in the form of a well curb	15 井欄に組んだ土台	15 井欄台基	15 우물 난간 형태로 만든 토대
16 <i>bonaki</i>	16 盆石	16 盆景	16 분경
17 leg of <i>bonaki</i>	17 盆石の脚	17 盆景的脚子	17 물대의 받침
18 yard	18 庭	18 庭院	18 뜰
358 <i>Fences</i>	358 垣・篱	358 篱笆	358 울타리
1 brushwood fence	1 柴垣	1 篱墙	1 싹나무 울타리
2 yard	2 庭	2 庭院	2 뜰
3 bamboo	3 竹	3 竹子	3 데나무
4 porch	4 縁	4 廊	4 쪽마루
5 joist	5 縁葺 (えんかづら)	5 合扇横木	5 받침
6 short post supporting the porch	6 縁支	6 廊底支柱	6 마루 등자
7 curbstone	7 碣石 (かずいし)	7 路石	7 장대석
8 ditch to catch raindrops from the eaves	8 雨落溝	8 排水沟	8 낙수받이 홈통
359 <i>Fences</i>	359 垣・篱	359 篱笆	359 울타리
1 brushwood fence	1 柴垣	1 篱墙	1 싹나무 울타리
2 <i>sulfur</i> supporting brushwood fence	2 柴垣의 樑木	2 篱笆横架	2 싹나무 울타리의 가로 띠
3 post of wickerwork fence	3 籬代垣의 支柱	3 竹籬杆 (支柱)	3 삼지리 울타리의 지지 기둥
4 horizontal beam	4 横棧	4 横棧	4 띠장
5 <i>Atsushi</i> fence (wickerwork)	5 籬垣 (籬代垣) (다시끼 - 아지라노마)	5 籬木片横架	5 노송나무 울타리 (앗지리)
6 dog	6 犬	6 狗	6 개
7 little dog (black)	7 小犬 (黒毛)	7 小狗 (黑毛)	7 장아치 (검은 털)

3年間の期間で残り3巻の刊行まで進む計画であったが、問題点の検討に多くの時間を要し、実際には第3巻を無事完成させることを優先させ、余力があれば第4巻、第5巻の編纂を行うことに計画を変更した。3年目には第3巻の検討も進み、秋にはキャプションのマルチ言語原稿も揃い、1巻として組み立てる段階になった。第3巻も、既刊の第1巻、第2巻と同じように、英語による本文編とマルチ言語によるキャプション一覧を付す語彙編の2分冊として編集した。そして、図版などの割り付けから製版までの制作を、第1巻の制作を手がけた編集会社あむに依頼し、1月には無事原稿を引き渡すことができた。これから年度末までは、組み上げられた校正刷りを点検する校正に追われることであろう。第1巻、第2巻の経験によれば、校正の過程で多くの問題点が発見され、特に表記・表現の不統一は校正ではじめて気付くことも少なくなかった。今回も多くの補訂が加えられることになる。

第3巻の編纂の見通しが付いた3年目の夏には、残り第4巻と第5巻の編纂準備に入った。まず分量が多い本文の英語訳を若手研究者に着手して貰い、現在までにそれぞれの翻訳が行われ、編纂の検討原案として蓄積された。研究班によるその本格的な検討は来年度に入ってからになる。

3 マルチ言語版刊行の意義

マルチ言語版『絵巻物による日本常民生活絵引』の編纂刊行の意義は以下の諸点にある。

第一に、絵引編纂という、日本で考えられた独創的な方式を世界に示し、世界的な規模で絵引の可能性を考えて貰うための検討材料を提供したことである。日本語としては『絵巻物による日本常民生活絵引』が刊行され、多くの研究者が座右において、それに親しみ、また恩恵を受けている。しかし、日本語を解さない研究者には、『絵巻物による日本常民生活絵引』を手にしてもその独特の方式を理解することはできないであろう。マルチ言語版『絵巻物による日本常民生活絵引』を手にするとはじめて絵引という方式を理解できることになる。辞書編纂のために絵を描き、その絵に描いた事項や部分について単語を示すという図解方式は欧米でも古くから行われている。しかしそれらは辞書編纂のために必要な事項を新たに描いて、単語を示すものである。それに対して、絵引は過去に特定の文化の中で描かれた絵画から特定の時代の特定の生活事象を引き出すものである。文書・記録のような文字資料から情報を獲得することは歴史研究の常識であるが、絵引は図像資料から情報を引き出すものであり、この世界に類をみない独創的な方式を世界に示すことがマルチ言語版『絵巻物による日本常民生活絵引』の最大の使命である。

第二には、日本中世の生活文化を、日本研究者を超えて、広く理解できるように示したことである。日本語を解する研究者であれば、『絵巻物による日本常民生活絵引』をひもとくことでそれは果たせる。しかし、日本の生活文化に興味関心を有するが日本語を理解できない人々には、その意味するところは全く理解できない。マルチ言語版『絵巻物による日本常民生活絵引』によって、はじめて日本中世の生活文化を具体的に理解することができるようになる。十分に検討した結果として記されている本文とキャプションを読むことで、日本史上の事項について、日本語を知らなくても適切に理解できるようになる。

第三に、日本語と各言語が対照できるマルチ言語版を刊行したことで、生活文化に関する比較研究

の材料を提供できたことである。マルチ言語版『絵巻物による日本常民生活絵引』に収録された日本語、英語、中国語、韓国語の対比的記載は、日本の事象を理解するための措置であるが、それぞれの言語においてそれに対応する事物を引き出すことで、言語的に対照するだけでなく、具体的な事物を対照させることができる。そのためには、言うまでもなく、それぞれの言語によるその文化を対象とした生活絵引を編纂することが必要である。マルチ言語版『絵巻物による日本常民生活絵引』の編纂は、世界の様々な文化についての絵引が編纂されることを期待して、その呼び水の役割を果たすものである。近い将来、東アジアの諸地域において、あるいはヨーロッパにおいて、それぞれの文化が蓄積している図像資料を対象にした絵引が編纂されることを期待したい。それが可能かどうかを編纂を通して検討し、絵引という方式の普遍性を確認するための第一歩がこのマルチ言語版と言える。

4 第二期共同研究へ

第一期の共同研究は、『絵巻物による日本常民生活絵引』の第3巻のみの編纂で終わったが、引き続き編纂を進め、第二期では第4巻と第5巻の編纂を完了させ、全五巻のマルチ言語版『絵巻物による日本常民生活絵引』をセットとして刊行することになるものと考えている。今までに刊行した第1巻、第2巻、また今回刊行する第3巻の内容について、これを手にして利用しようとした場合、種々問題を感じ、あるいは疑問も生じるかと思われる。どうか忌憚のないご意見をお聞かせいただきたい。

(ジョン・ポチャラリ／福田アジオ)